

# 笑顔があふれるさばえに 佐々木鯖江新市長



10月19日に初登庁した佐々木勝久市長。多くの職員や市民の盛大な出迎えを受け、鯖江のかじ取り役を任せられた責任の重さと決意を新たにしたことだろう。終息の見えないコロナ対策など喫緊の課題に立ち向かう。

昭和30年の市制施行以来  
65年ぶりの三つどもえの争い  
となつた鯖江市長選。激戦を  
制し佐々木勝久氏（52）が、初  
当選した。

激戦だつただけに当確が出  
ると、選挙事務所は支持者の  
歓声や拍手に沸き、佐々木氏  
が現れると握手攻めに。「みん  
なで新しい鯖江を進めていく  
ために、いろんな声をくださ  
い。それらを事業化し、スピ  
ード感を持つて進めていきた  
い」と決意を述べた顔は喜び  
に満ち溢れていた。

10月19日に初登庁。市役所

に到着した佐々木市長は、職  
員や市民ら約300人に出迎  
えられ、花束を受け取った後、  
幹部職員を前に初訓示。

これから、職員の皆さんと  
一緒に『笑顔があふれる「さ  
ばえ』をつくる』ために全力  
で仕事をしていく。そのため  
に必要な事は「自分自身と仕  
事への取組みを見つめ直し、  
再びゼロから積み上げてい  
く努力を惜しまないこと」「市民  
とのまちのために、全力で  
行動していくこと」だと思う。  
職員の皆さんとも対話を重視  
し、風通しの良い市長室をつ  
くり意思疎通をしつかり行つ  
ていくと、強い決意を示した。